

みだい



コロナ禍に想う

みだい寮施設長 老沼 正敏

今年は今明け早々から、コロナ禍への対応に追われています。利用者やご家族にはご不便をおかけしています。

感染への不安は、高齢者や障害者にとつてはより深刻です。また、集団生活の場にウイルスが入り込んだらと考えると、夜も眠れません。みだい寮では、職員がウイルスを持ち込まないよう、細心の注意を払っています。出勤前に検温し体調がすぐれない場合は出勤しないよう徹底しています。しかし、PCR検査が思うように受けられず、自分だけの風邪なのか、感染しているのか、利用者を感染させていけないか、出勤できないと他の職員に負担が、いつ出勤できるのか、たまらない気持ちになります。状況に対応できるPCR検査体制の確立を切に願うところです。(この文章がお手元に届くころには不安が少しでも解消されていることを願います。)

一番の課題は、集団生活の場での感染発生時の対応です。現場任せではどうにもなりません。現実的な対応の検討が急務です。コロナ禍によって、社会の盲点があぶり出されている感があります。

「この状態がいつまで続くのか?」「いつ元に戻るのか?」
多くの方が想っていることです。しかし、これから先、私たちが戻るべき「元」とはどこなのでしょう。

カミユの『ペスト』を読み返しました。ペストが終息するまでの人々の苦悩を描いた後、ペストの菌は消滅したわけではない、いつか人間に不幸と教訓をもたらさずべく身を潜めているだけだ、と結んでいます。

今回の新型コロナウイルスは、人間の経済活動が自然界から連れ出し、グローバル化により、世界中に運んだものです。

私たちが引き継ぐべき「教訓」とは? 辿り着く先は?
一日も早い収束(終息)を願いつつ、考えなければならぬことです。

コロナにも負けないみだい寮

家族会会長 堀内 澄子

新型コロナウイルスに色々なことが足止めされて三月、四月、五月と早くも三か月が過ぎました。

家族会の皆様、お元気でしょうか。

外出自粛のために運動不足になったり、体力が低下したり、また、人と接する機会が少ないために気持ちや沈んだり、何かとこれまでとは違う心身の変調があることと思います。最近では数が減ってきてはいますが、毎日感染者が出ているので油断はできません。いつになったら全く心配がなくなるのか、誰にも分らないことです。

各地の介護施設等でも集団感染が発生し、全国では一万六千人以上の人が感染し七百人以上の人が亡くなりました。そんな中で、みだい寮においてはコロナを寄せつけず、全員が元気に日々の暮らしができています。ひとえに職員の皆様のおかげと感謝の限りです。例年、五月の連休には帰省する利用者さんが多いと思いますが、今年はコロナの影響で帰省は一切できなかつたのですが、皆さんの健康状態もよく、たいへん落ち着いて生活しているとのこと、嬉しく思います。

家族会の総会は、三密の自粛の観点から一堂に会することをせず紙面をもつての議事となりましたが、会員の皆様の了解を得て、無事に終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

コロナが収束しましたら、会の行事等へのご参加、ご協力をよろしくお願い致します。



令和2年度 利用者会新役員紹介



書記

伊藤 すみかさん
みんなと一緒に
がんばります！

会長 堀内 文史さん

会長になりました。
がんばるのでよろしく
お願いします！

副会長 天野 多恵子さん

みんなと協力しながら
がんばっていきます！

副会長 塩沢 秀夫さん
みんなを盛り上げてい
きます！

会計監査 田中 正志さん

みんなと頑張ります。
よろしくお願いします。

会計

坪川 美佐子さん
一生懸命がんばります！

利用者会役員選挙が4月26日に実施されました。

感染しない為に一人一人ができること

新型コロナウイルスの猛威が全世界で広がり、重篤な事態となっています。同じ障害者施設において、50名定員の利用者・関連の通所やショートステイ・関係者家族を含めて、総勢121名が罹患し死亡者も出たことは、記憶に新しい出来事です。感染しない為に私たちができること…考える機会になればと思います。

感染源・感染経路・感受性宿主の3つが重なると感染が成立します。

感染源がコロナウイルスとした場合、飛沫や接触することが感染の経路となります。インフルエンザやノロウイルスも含めてですが、感染源の菌は、一般的に外部から持ち込まれることがほとんどです。それなので施設で働いている職員は、感染源を持ちながら感染経路ともなる場合があります。そのことを自覚して普段の生活から、感染しない為に『行動を変える』ことこそが、予防の第1歩になります。感受性宿主の話しにうつりますが、大まかに言うとその人の免疫力の程度をさします。免疫力が低く、3つが重なると感染を起こします。免疫を上げて感染に負けない身体作りが必要です。①血液・リンパの流れを良くして、体を冷やさない（免疫細胞が活性化）②適度な運動（血流をよくすることで血中に免疫細胞が出てきて免疫力が高まる）ただし、やりすぎ注意。③質の高い眠り・リラックス（傷ついた細胞修復）④発酵食品等を摂取（人体最大の免疫器官である腸の環境を整える）等これもまた、私達が感染しない為にできることの1つではないでしょうか？

まず、自分が感染しないこと。私達が職場としている施設の利用者は、感染には弱いです。一人一人の心がけで、私達がバリアになることが出来ます。何人もの健康や命が守られることに結びつくでしょう。そして、私達には、家族があります。幼い子から高齢になる家族。又は、病気で治療を受けている家族とさまざまですが、繋がっている大切な家族があります。

私と私の大切な人を守る為に意識しましょう。

医務 山岡 安美

新任・異動・退職職員の挨拶



一寮 佐藤 瑞貴

利用者一人一人に親身になり寄り添っていけるような支援をしていきたいと思っています。よろしくお願いします。



二寮 武者 優

日々勉強しながら利用者さんが充実した生活をおくれるように支援していきたいと思っています。よろしくお願いします。



東棟 中澤 直

利用者さんの日々の生活をより良いものにできるよう試行錯誤しながら支援に取り組んで行きたいと思っています。よろしくお願いします。



医務 内田 里枝子

昨年3月からみだい寮で働いています。4月からまた気持ちを新たに、利用者さんが笑顔で過ごせるよう頑張りますので宜しくお願いします。



東棟 伊藤 瞬

育精福祉センター成人寮から異動してきました。早く慣れて利用者さん達と楽しく活動できたらなと思っています。よろしくお願いします。



育精福祉センター児童寮に異動となりました。みだい寮からは離れますが、同じ法人のなかまであることは変わりありません。今後はこちらで得たものを共有しみだい寮の力になりたいと考えています。

内藤 悠貴

総務課長挨拶

上田 亜衣



令和二年四月一日付、総務課長に拝命いたしました上田亜衣です。正直、私にそのような大任が務まるか不安を感じております。前任故清水正人総務課長、老沼正敏現施設長は信頼も厚く、今の私では、遠くおよびませんが少しずつでも前課長に近づけるよう、そして自分の（色）もそこに出していきけるように努力を重ねていく所存です。

今から、うん十年前四月一日（年齢隠避のため、うん十年と記載）縁あって当法人に採用して頂き、みだいな寮事務員として配属されました。当時は、利用者さんも若く五十名定員、職員も個性豊かな方々でした。まだ十代の私は、「若い力でがんばります」と、あいさつをさせて頂きました。その後のみだいな寮は、棟棟の増設、利用者二十人増員、GH開設、個室化対策、放課後デイ開設、権利擁護活動など様々な福祉サービスの展開を行ってまいりました。会計基準についても、従来の施設単位であった会計単位を法人単位一本化となり、全体での経営状況の把握ができる会計基準が制定されました。移行時、大変苦慮しました。新たに設けられた会計ルールにより、建物等の資産価値を評価、表示するための減価償却制度の導入、社会福祉充実残高の算定など財務諸表等の作成の時間は、倍増し決算においては、極めて複雑な処理が必要となりました。

私もついにアラ〇〇となりました。これまで以上に「老脳」をフル回転し法人・みだいな寮のため精一杯尽くしてまいりたいと思います。今後とも、より一層のご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

支援二課長挨拶

山本 明枝



この4月に、支援二課の課長に命じられました山本です。どうぞ宜しくお願い致します。当法人に入職したのは、学校を卒業してすぐの二十代の頃でした。社会人として現場で働くことに喜びを感じた反面、不安と緊張の中、作業や生活面でのサポートに奮闘していたこと、利用者さんたちからの「おはよう」と笑顔で迎えてくれる姿や「さようなら」と玄関まで見送りに出てきてくれたことで、次第に緊張が解れていったことなどが、懐かしく思い出されます。今も皆さんからの温かい挨拶には、変わらず元気をもらっています。そして、諸先輩方からのご指導や助言を受けて、成長出来たと確信しております。あれから月日は流れ、年々新しい職員が入職しています。自信を持って利用者さんと触れ合えるよう、私がこれまで培った経験や知識のもと、仕事の手順を教えると共に、利用者さんの意思を考え行動するべきであるということを後輩たちに伝え、日々利用者さんに寄り添った支援に尽力致しております。

さて、世間を騒がしている新型コロナウイルスですが、みだいな寮では看護師の指示のもと、施設内の清掃や消毒を実施しております。職員一人ひとりが、利用者さんの生活を脅かさないよう、「職員がウイルスを持ち込まない」を合言葉として、より一層の意識と自己の健康管理を徹底してまいりました。未だ第二波の懸念はあるものの、緊急事態宣言が解除されました。（5月下旬現在）。しかし、完全に終息するには時間がかかりそうです。また、かつての日常とは変容した新しい生活を送らなければならぬかもしれないかもしれませんが、早い終息を願うばかりです。利用者さんやご家族、関係機関の皆様には大変な心配をお掛けして申し訳ありません。そして、皆様のご理解とご協力に感謝致します。



謝しています。最後に
みだい寮の利用者の皆
さん、職員の方々のご
健康を祈っています。
長い間ありがとうございました。

神宮司 文生

3月31日付けで山梨県手をつなぐ親の会を退職しました。平成5年4月より、みだい寮の支援員として主に東棟の利用者さんへの支援を行ないました。平成25年から27年にかけては育精福祉センター成人一寮へ異動となり、最重度の知的障害者さんに対しての支援を経て平成28年度4月よりみだい寮へ戻ってきました。育精福祉センター成人寮では、最重度の利用者さんに対して、若い職員が頑張っている姿をみると「ありがたいことだな」と感謝の気持ちを抱くようになりました。近年は高齢化してくる利用者さんの生活介護を行ないながら、私自身の身体も膝や腰に不具合がでて勤務に支障がでるようになってきてしまいました。定年退職には数年を残していましたが、私自身の今後も考慮して退職の選択をいたしました。在職中は利用者さん、職員の皆さんとの沢山の思い出があります。長年勤務できたのも利用者さんの笑顔と職員の方々の協力があつたからこそと心から感謝しています。

行事・活動のハイライト

新年会



みんなでお祝いしました！



節分



豆まきをしました。楽しかったけど、鬼は怖かったです。



お楽しみ会・お花見



満開で綺麗でした！

7月～12月の行事予定

7月	七夕
8月	納涼祭 開所記念
9月	お楽しみ会
10月	福祉村祭り
11月	秋レク 障害者文化展
12月	クリスマス会 餅つき大会 大晦日パーティー

令和2年1月～令和2年6月までの

苦情解決

社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会における「苦情解決の仕組み」を利用した苦情解決はありませんでした。

令和元年度決算報告

資金収支計算書			
平成31年4月1日～令和2年3月31日			
福祉事業活動収支	収入	障害福祉サービス等収入	322,337,106
		経常経費寄付金収入	0
		受取利息配当金収入	42,793
		その他の収入	479,927
		福祉事業収入計	322,859,826
	支出	人件費支出	224,757,357
		事業費支出	50,034,011
		事務費支出	13,376,367
		その他の支出	1,237,324
		資金減少額（徴収不能額）	0
	福祉事業支出計	289,405,059	
	福祉事業活動収支差額	33,454,767	
施設整備等収支	入	施設整備等収入計	0
	出	施設設備等支出計	7,669,048
		施設整備等収支差額	△7,669,048
財務活動収入	入	財務活動収入計	0
	出	財務活動支出計	0
		財務活動収支差額	0
その他の収支	収入	積立資産取崩収入	28,720
		その他の活動収入計	28,720
	支出	積立資金支出	0
		拠点区分間繰入金支出	4,976,000
		その他の活動支出計	4,976,000
	その他の活動資金収支差額	△4,947,280	
	予備費	0	
	当期資金収支差額合計	20,838,439	
	前期資金残高	237,306,669	
	当期末資金残高	258,145,108	

貸借対照表	
令和2年3月31日	
資産の部	
流動資産	281,125,447
基本財産（土地）	0
基本財産（建物）	247,166,737
その他の固定資産	451,951,773
資産の部合計	980,243,957
負債の部	
流動負債	34,218,339
固定負債	26,944,370
負債の部合計	61,162,709
純資産の部	
基本金	199,405,920
国庫補助金等特別積立	137,485,191
その他の積立金（施設整備積立金）	404,511,358
次期繰越活動収支差額	177,678,779
（うち当期活動収支差額）	17,976,606
純資産の部合計	919,081,248
負債及び純資産の部合計	980,243,957

令和元年度より、法人の社会福祉充実計画（地域生活支援拠点整備に伴うグループホームどんぐりの森甲西の再整備）の取り組みを行いました。令和2年度完成予定になっております。

みだい第65号 編集後記

新型コロナウイルスの話題が多い今日この頃、みなさんはどうお過ごしですか？みだい寮でも自粛生活をしており、利用者さんの心身の機能低下が心配です。みんなで知恵を出し合いこの難局を乗り切って行きたいと思います。

編集後記 坂本・大芝